

## 【看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に対する計画書】2026年度

項目	取り組み内容
<b>1.業務量の調整</b> 時間外労働が発生しないような業務量の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週 39.7 時間で連続勤務 5 日までとする</li> <li>・業務に必要な研修等は勤務の扱い</li> <li>・勤務間インターバル制度の運用</li> </ul>
<b>2.看護職員と他職種との業務分担</b>  作業療法士  精神保健福祉士  薬剤部  看護補助者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OT活動時の移乗動作の実施</li> <li>・OTスタッフによる嚔下訓練の実施</li> <li>・他科受診の同行や入退院の送迎を実施</li> <li>・入院セット、おむつセットの説明・同意書取得</li> <li>・持参薬の管理や救急カート定数管理を実施</li> <li>・薬剤師による注射薬剤ミキシング業務の実施</li> <li>・入院セット、おむつセットの管理を実施</li> <li>・リネン類の伝票整理の実施</li> </ul>
<b>3.看護補助者の配置</b> 看護職員の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務的業務を行う看護補助者の配置を実施</li> <li>・面会時の対応や電話対応など</li> </ul>
<b>4.多様な勤務形態の導入</b> 短時間正規雇用の看護職員の活用 福利厚生者の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な勤務形態の設定（非常勤）</li> <li>・短時間正規雇用の活用（常勤）</li> <li>・季節休暇やリフレッシュ休暇の取得</li> </ul>
<b>5.妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮</b> 休日勤務の制限制度 半日・時間単位休暇制度 希望時配置転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則に規定されている休暇の活用</li> <li>・産休、育休、介護休、子の看護など</li> <li>・配置転換希望者の意向を検討</li> </ul>
<b>6.夜勤負担の軽減</b> 看護補助者の夜間配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16時間未満となる夜勤時間の設定</li> <li>・個人の希望に配慮した夜勤勤務回数への配慮</li> <li>・夜勤明けの翌日は原則休み</li> </ul> だいち 看護職員 2 名 + 看護補助者 1 名の合計 3 名 うみがめ 看護職員 1 名 + 看護補助者 1 名の合計
<b>7.その他</b> 有給休暇の取得向上	年5日以上 1時間単位での取得